



文京区
シンボルマーク



文の京
(ふみのみやこ)

区報 ぶんきょう

令和8年(2026)

1月1日

No.1875

広報戦略課広報担当
☎03-5803-1128



新春対談



あけましておめでとうございます！新しい年が始まりましたね。

去年は、夏が早く来てとても暑かったり、物の値段が上がったり、外国からたくさんの人が来たりと、皆さんの生活に色々なことがあった一年でした。

今年は、文京区に住む皆さんが安心して毎日を過ごせるように、色々なことに力を入れていきます。4月にはこどもたちの権利を守るためのルールである「文京区こどもの権利に関する条例」が出来上がります。こどもの権利について皆さんに知ってもらい、一緒に守っていけるよう、取り組んでいきます。他にも、こどもたちが困ったときに相談できるところを作ったり、勉強や生活で困ったりしていることを助ける取組もしていきます。そして、大変な思いをする子がいないように、こどもたちが元気に育っていけるよう、地域のみんなで助け合えるまちにしていきます。仕事を見つけるのが難しい人や、家族の介護などで大変な思いをしている人など、困っているこどもや若い人たちを、もっと助けていけるように、力を入れていきます。

これからも、文京区に住む皆さんが「このまちに住んでよかった」と心から思えるように、色々なことに一生懸命取り組んでいくので、皆さんの応援や協力をお願いします。

最後に、今年一年が皆さんにとって、たくさんの良いことがある一年になりますように心から願って、新年のごあいさつといたします。

文京区長 **成澤廣修**

8年4月スタート

文京区こどもの権利に関する条例を制定

こども100%の前文づくり！

全てのこどもは、自分らしく健康に育つために、生まれながらに権利を持っています。この「こどもの権利」についてこどもも大人もみんなが正しく知って、一緒に守っていくため、文京区ではまちのルールである条例を作ります。

条例の目的などを示す前文は、区内の中・高生が「こどもの権利推進リーダー」となって、自分たちで作成しました。リーダー会議を7回行い、のべ300人の中・高生が参加しました。前文を作る時にリーダーたちがどのように取り組んだのか、今回は、こどもの権利推進リーダーであるこどもたちと区長で対談しました(詳しくは次のページへ▶▶)。



▲完成した前文案が掲載されたパネルを囲んで

本号はこどもにも読んでいただけるように作成しています

毎月10・25日発行(次回は1月25日号)

発行/文京区 編集/企画政策部広報戦略課 〒112-8555 文京区春日1-16-21

代表 ☎ **03-3812-7111** <https://www.city.bunkyo.lg.jp/>

☆区報1月1日号は新聞(朝日、毎日、読売、産経、東京、日本経済、日刊スポーツ、スポーツニッポン、スポーツ報知、サンケイスポーツ、デイリースポーツ)折込で区内世帯に配布しています。そのほか、区の施設に置いてあります。

子どもの権利推進リーダー会議

昨年1〜10月にかけて会議を7回行いました。こどもの権利の理解を深めてから、グループでの活発な意見交換や発表を行い、前文案を作成しました。

リーダーの声シート

「こどもの権利」の趣旨はどうか、その趣旨をどう受けとるか、どんな姿でいかなきゃか、

こどもの失敗が許されてく、自分で成長していくことがアツク。

そのために、自分たちが取り組むこと、大人や社会が協力すること

失敗も成長を見守ってほしい。失敗する大人の言う通りにする、ではなく、自分で決めて成長していけるようにしてほしい。

▲リーダーの声シート

リーダーの掟
(会議でのマナーとルール)

- 一つ 恥ずかしがらず、積極的に意見を言おう
- 一つ 他の人の意見は、ささげらず、否定せず、しっかりと聴こう
- 一つ ここで聞いたことは、ここだけの秘密にする

▲リーダーの掟



作成した条例前文(案)を区長へ

作成した条例の前文案をこどもたちが一人ずつ読み上げ、区長に手渡しました。

こどもたちの思いが詰まった前文(案)ができたね!

▲条例の詳細はこちら

区長 区民の皆さん、新年明けましておめでとうございます。昨年は夏の猛暑や物価高など、色々なことがあった1年でした。今年こそ平和な1年にしたいと思います。

司会 今日はスタジオに「(仮称)文京区こどもの権利に関する条例」の前文作りに携わったこどもたちをお招きしています。

区長 今回はこどもについての条例なので、こどもたちの生の声がしっかり反映される、当事者であるこどもたち自身が考えてもらおうということが大切、こどものことはこどもが一番知っているということで、こどもたちなしには決めることができないと思います。

案文は、色々なことを私たちが考えて作りますが、前文に、中・高生たちを中心に生の声を反映させたいと思いこの取組が決まりました。

なが否定せずに共感してくれた場面がとてもありがたかったと思っています。

後半のリーダー会議の様子

司会 後半3回のリーダー会議は、いよいよ前文の作成に向けての活動がスタートしたということですが、その辺りはいかがでしたか？

なお 「リーダーの声シート」というのをみんなで書き出して、現状とこれから望むことを1回書き出すことで、目指す先がより明確になる作業だったなと感じています。

ひなた 第4回の会議で文章を考え始めた段階から、すでに参加者の人たちは言葉についてかなり思い入れを持っていて、こういう言葉じゃないと自分の言いたいことは伝わらないとか、この言い方だと誤解を生むんじゃないかということ、最後の最後まで確認して意見を出し合っていたので、とても良いものになったんじゃないかと思います。

区長 この条例の前文をこどもたちだけで作ると伝えられたとき、どう思いましたか？

なお 私はこどもたちが作る言葉を条例の中に入れていいのかという不安があったんですけど、こどもたちの言葉だからこそ伝わるものがあるのではないかと考え、気合を入れて作ってみました。

ひなた こどもの権利についてのお話をいただいたときから、「条例を作れるんだ、ワクワク」

といったかなり楽しみな気持ちが強かったんですけど、だんだん作業が進んでいくと、やっぱりこの一言一言に僕たちこどもの意見を載せないといけない、こどもというのは僕たちだけではなく他にもいっぱいいるので、他のこどもの声をちゃんと伝えるにはどうしたらいいかを考え、責任も感じるようになりました。

区長 すばらしいですね。リーダーからの要望で完成した前文案について区議会議員との意見交換会を行ったそうですね。大人の代表として議員さんたちと色々な意見交換をする中で、こどもたちが自分たちで前文をもっと良くしていく作業があって、より良いものになってうれしなと思います。

上の方になっていて、習っている漢字が中学生と高校生で差があったり、また、小学生目線でこれを見たときに、どのように見えるのかというところは、成長していくにつれて少し恐れてしまっている部分を思い起こさないといけないところがあったので大変だったのと同時に、色々な世代の人から引き出されるところがあって、乗り越えていけたなと思います。

しーさん 私も言葉選びを重視して前文作りに取り組みました。言葉一つ一つでも捉え方が変わってしまうのがやはり難しいなと感じましたし、そういう部分を重視することによって、色々な人に見てもらったときに、全員が最終的に感じる部分が一緒にならないと、条例の前文の意味がないのかなと思っていたので、言葉選びを意識して制作していました。

面が想像できるんじゃないかなと思ったり、条例をたくさんの人に広めて、こういう場所は作って欲しいという思いが、もっと色々な人が発言することによって実現できるんじゃないかなと感じています。

ゆいな 前文案が完成したのを見たとき、みんな全力で協力して作ってきたものが完成したとなるとすごくうれしくて、今までがんばってきた良かったなと思いました。

司会 皆さんの思いを受けて、区長はこの前文を見たときはいかがでしたか？

区長 僕はこどもたちが自分たちで作ってくれた前文は、一字一句そのまま使うと最初から宣言していて、今でもそのつもりでいます。そういう思いを持って皆さんにお願いをしていたので、すごく良いものを作ってくれたと感慨深いです。前文に皆さんたちが込めてくれた、行間に詰まったものがいっぱいある。みんなが共有して作るまでに様々な意見対立を乗り越えてここまで作ってくれたものを、しっかりと実践していく場作りというのを、みんなと一緒にやっていきたいなと思います。

司会 こどもたちの率直な気持ちが表われている前文で、私たち大人にとってもこどもたちの思いを知る良い機会になったと思いますがいかがですか？

区長 まさにそのとおりだと思います。直接こどもたちの意見を聞く場はこれまでそんなになかったです。条例を作ったのはゴールではなくてここがスタートなので、色々なことが動き始

めていきます。条例を皆さんと一緒に育ててもらいたいなと思います。

司会 最後に区長、皆さんのお話を受けての感想と、今年の抱負をお聞かせください。

区長 今日参加してくれているリーダーたち自身が色々な気づきをこの1年間の中で持ってくれているし、それぞれが成長してくれていることを実感してくださったと思うんですね。そのこと自体がとても大切なことだし、今回一緒に作ったリーダーのうち2人は18歳で、今度はこの条例を生かして守る側にもなるというお話もいただきましたけど、とても力強い言葉だなと思います。大人もこどももこの条例を大切に、理解者を増やしていく努力をみんなと一緒にしていくことができればいいなと思います。

前半のリーダー会議の様子

司会 リーダー会議は全部で7回あったと伺っています。前半の3回はこどもの権利や条例についての理解を深めるものということで、どうやって条例や権利を学んでいったのか、会議の様子を教えてください。

ゆいな こどもの権利が守られていないと感じたことがあるかや、こどもの権利を守るために私たちはどうしたらいいのかを話し合ったり、こどもの権利条例を制定した他の自治体の条例前文を読んで感想を交換したりして、とても有意義な時間にできたと思います。

司会 皆さんは7回も会議があったということで、段階を経て、どんどん発言ができるようになっていったり、そういった学びもあったのではないのでしょうか？

しーさん 最初は素直な気持ちを言い出せない部分が多かったけれども、文字にすることだったら自分の素直な気持ちを書けるというのがあったので、付箋を活用した意見交換がすごくうれしかったです。実際に発表したときもみんな



がんばった点・大変だった点

司会 それではここで、こどもたちが前文作りでそれぞれ力を入れてがんばった点、大変だった点を発表していただきたいと思います。

ゆいな がんばったり力を入れたりしたのは前文の言葉の選び方です。これは、こどもを守るための条例なので、要求ばかりの文章になってしまいうですけど、私たちが目指したのはそうではなく、こども自身も努力する。こどもと大人の両方が力を合わせようという前文にしたなと思いました。言葉の選び方によっては、こどもからしてほしいという要求だけのものになってしまうので、そうならないように気をつけました。

なお 意見がぶつかったりすることもあったんですけど、お互いが一生懸命前文作りに取り組んでいるからだと意識を変えて、それから、いつも会議の前に「リーダーの掟」を確認しているんですけど、ほかの人の違う意見も尊重しようと毎回確認していたので、そういう意見もあるんだと新しい視点として、自分の中で取り入れるようにしていました。

ひなた 私は今、高校3年生で会議の中で年は

完成した前文案を見たとき

司会 みんなの意見が反映されたこちらの前文が去年の8月におおよそ形になってきたということですが、実際に完成した前文を改めて見たとき、お気持ちはいかがでしたか？

ひなた 会議の中で、ほかの人と意見が対立することもありましたし、確かに共感できるところも多くあって、この一文一文に全て思い出ていると思いますか、みんなの思いが詰まっていると感じられて、会議の一場面一場面がどんどんフラッシュバックしてくるのかのような、アルバムのような形の前文案になったかなと思います。

なお 自分だけではなく、共同制作した作品が完成したときみたいな、喜びや達成感がありました。考え方の多様性であったり、話の進め方に難しさを感じていたりもしたんですが、出来上がりを見たときに、悩んだ時間もこの前文ができるために必要な時間だったんだなと感じました。

しーさん 文章を見たときに、具体的な場面を自分の頭の中で想像できて、私ができるってことはこれを見たこどもたちもきっとそういう場

面が想像できるんじゃないかなと思ったり、条例をたくさんの人に広めて、こういう場所は作って欲しいという思いが、もっと色々な人が発言することによって実現できるんじゃないかなと感じています。

ゆいな 前文案が完成したのを見たとき、みんな全力で協力して作ってきたものが完成したとなるとすごくうれしくて、今までがんばってきた良かったなと思いました。

司会 皆さんの思いを受けて、区長はこの前文を見たときはいかがでしたか？

区長 僕はこどもたちが自分たちで作ってくれた前文は、一字一句そのまま使うと最初から宣言していて、今でもそのつもりでいます。そういう思いを持って皆さんにお願いをしていたので、すごく良いものを作ってくれたと感慨深いです。前文に皆さんたちが込めてくれた、行間に詰まったものがいっぱいある。みんなが共有して作るまでに様々な意見対立を乗り越えてここまで作ってくれたものを、しっかりと実践していく場作りというのを、みんなと一緒にやっていきたいなと思います。

司会 こどもたちの率直な気持ちが表われている前文で、私たち大人にとってもこどもたちの思いを知る良い機会になったと思いますがいかがですか？

区長 まさにそのとおりだと思います。直接こどもたちの意見を聞く場はこれまでそんなになかったです。条例を作ったのはゴールではなくてここがスタートなので、色々なことが動き始

こどもの権利推進リーダー2期生 募集中!

▶活動期間 3〜10月頃(月に1回程度の会議を平日午後6時〜7時30分に実施予定)

▶活動内容 動画やパンフレットの作成など、こどもの権利を広めるための活動

対区内在住・在学中・中高生世代30人程度

申電子申請2月13日(金)

※参加に当たり、必ず保護者の同意を得ること

子育て支援課子ども施策推進担当

☎03-5803-1256

▲申込はこちら

区長とこどもの権利推進リーダーの新春対談の詳細は、「文京区民チャンネル」でご覧になれます!

文京区民チャンネル 11ch

文京区民チャンネルで放送(各47分間)

1/1(金)〜3(日)9:10、12:10、18:10、21:10

1/5(月)〜11(日)16:00、19:00

YouTube「文京区公式チャンネル」で配信

1/6(火)から配信

広報戦略課CATV担当

☎03-5803-1130

YouTube「文京区公式チャンネル」



メディアパートナー*

による

区のイベント紹介

昨年、区などが実施したイベントをメディアパートナー
区報グループの皆さんが取材しました。

*メディアパートナー:より身近で開かれた広報を目指して、区の広報活動にご協力いただく区民の皆さんを「メディアパートナー」として区が委嘱し、活動していただいています。
(7年度メンバー:青木さん、板橋さん、木村さん、嶋田さん、橘さん)

Bunkyo Sports Park2025 [木村さん]

区ゆかりの団体や企業が出展するスポーツ体験イベント「Bunkyo Sports Park 2025」が開催され、多くの来場者で賑わいました。参加した子どもたちは、楽しそうにサッカーボールを蹴ったり、バスケットボールのシュートに挑戦したりしていました。体力測定ブースでは、握力測定や長座体前屈などに奮闘する真剣な姿が見られました。多くの人たちがスポーツに慣れ親しむ良い機会になったのではないでしょうか。



▲体験ブース



フレイル予防教室(栄養編) [青木さん]

“フレイル”という言葉が気になり始め、「フレイル予防教室(栄養編)」に参加しました。運動だけではなく、食事から摂る栄養も重要な予防法であることを学びました。講師は、東京都健康長寿医療センター研究所の横山友里先生で、エビデンスを示しながらの納得のいく講義でした。

グループワークでは、実際にどのような調理法で必要な栄養素を摂り入れていくかという情報交換ができ、その日から実践できる有意義な講義でした。



子育てフェスティバル2025 [嶋田さん]

妊娠・出産から、総合的な子育て支援を行っている文京区の年に一度の「お子さんご家族のための祭典」です。保育園での活動を体験できるブース出展、私立保育園の園児や職員が作成した「子どものマイブーム」～今、夢中になっている遊び～がテーマの掲示物が展示されました。

そのほか、児童館職員と竹早教員保育士養成所によるふれあい遊びや読み聞かせ、工作や手形ねんどのほか、手作りおもちゃで自由に遊べるコーナーも。ステージでは、コンサートや紙芝居SHOWなど見どころ満載！親子で一日楽しめるイベントです。



◀体験ブース



展示の様子▶

第13回文京・見どころ絵はがき大賞 [橘さん]

絵はがき大賞の主催は文京建築会、実行委員会
はボランティア運営で、7年8月21日～24日にシ
ビックセンターで開催した。会場には403点の
応募作品が文京区の地区ごとに設置され、子
どもからシニアまでの来場者で賑わった。

この賞は文京区の好きな場所をはがきに楽しく描くのが主旨。年齢にこだわらない。昨年の大賞は山本茅映さん(受賞時14才)の「お化け階段」。アニメやイラスト好きの山本さんは、毎日歩く根津の古い階段を初めての鉛筆画で挑戦し見事に大賞受賞。「文京区らしい想像を促してくれる作品」との講評。

8月23日の表彰式は、約100名の出席で和気あいあいの熱気に満ちた雰囲気。入選作、優秀賞、区長賞や文京建築会賞など各賞が授与され、小・中学校などの団体賞も発表された。



▲作品展の様子



▲大賞作品

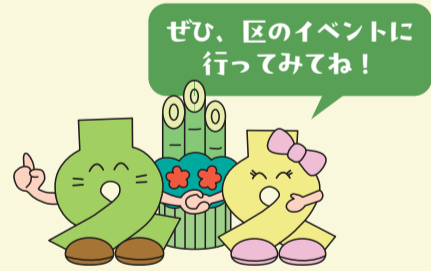
文の京ガイドツアー [板橋さん]

第2回「文の京ガイドツアー」肥後細川庭園から漱石山房～文化と歴史が繋ぐ熊本県・熊本市・新宿区・文京区の足跡を巡る～に参加しました。4自治体は、江戸時代の熊本藩細川家下屋敷の庭園跡地(現在の肥後細川庭園)や夏目漱石の生涯を通じて深い繋がりががあります。

今回は肥後細川庭園や神社を巡り、最後は漱石山房記念館を見学しました。錦絵や古写真等を交えたガイドの解説は分かりやすく、文化と歴史を体感できる充実した街歩きでした。楽しく学べる観光ガイドツアー、是非多くの方におすすめしたいです。



▲肥後細川庭園



ぜひ、区のイベントに行ってみてね!



成人の日記念 はたちのつどい

はたちの皆さんの参加をお待ちしています

日1月12日(成人の日・月)午前11時～正午会シビックホール大ホール
対平成17年4月2日～18年4月1日生まれの内在住者▶成人の日
記念ライブ ハラミちゃんin 文京、湯島天神太鼓▶設置コーナー 区立
小・中学校からのメッセージ、記念写真、行政PR等

※詳細は招待状参照
※招待状が届いていない場合、1月5日(月)以降に区民課へ
※式典の一部をライブ配信(予定)

問区民課 地域振興・協働推進担当☎03-5803-1170



▲詳細はこちら



▲ハラミちゃん

「はたちの献血」にご協力ください

1月1日～2月28日は、
はたちの献血キャンペーン期間

冬は寒さで体調を崩す方が多く、血液確保が厳しくなります。
多くの皆さんに、献血のご協力をお願いします。

日1月14日(水)①午前10時～11時30分②午後1時～
4時会アートサロン申当日直接会場へ(事前予約可)
問東京都赤十字血液センター献血推進課☎03-5272-
3523、献血推進協議会事務局(生活衛生課)☎03-
5803-1223



▲予約はこちら